

事務事業調書

平成27年度

事業No	535	課	都市計画課	係	都市計画係	起案者	前田晃佑
						決裁者	市川公清
事務事業名					事業種別	定型事務	
国庫補助金申請事務							

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 4 行政経営 1 行政運営 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		40-20-5
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成15年度	経過	12年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が				~になる	
事務事業の内容	国土交通省所管国庫補助金に関する事務を一元的に行います。					
改善・対策の履歴	まちづくり交付金事業の新たな地区の都市再生整備計画を申請し認められたので、21年度から各事業に国費の投入が図られることになりました。 平成27年度より新たな社会資本総合整備計画、「安心・快適な、賑わいあふれるエコまち”あんじょう”」がスタート。今後5カ年で各事業に効率良く補助金が配分できるよう検討する。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	9,165	19,961	21,266	14,817	18,024
財源計	1,290	12,086	13,391	6,942	10,149
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,290	12,086	13,391	6,942
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)	7,875 (1.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	調整会議の開催	見込	5.00	5.00	5.00	3.00
			実績	5.00	9.00	9.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	4,410	6,218	6,304	
			活動にかかるコスト(千円)	882.00	690.89	700.44	
活動2	活動名 (活動内容)	補助金申請	見込	5.00	5.00	5.00	1.00
			実績	5.00	4.00	1.00	
	指標名 (単位)	申請回数(回)	活動の総事業費(千円)	3,150	12,138	6,908	
			活動にかかるコスト(千円)	630.00	3,034.50	6,908.00	
活動3	活動名 (活動内容)	補助金要望	見込	5.00	5.00	5.00	3.00
			実績	0.00	4.00	7.00	
	指標名 (単位)	要望回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,605	1,605	1,605	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	401.25	229.29	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		<ul style="list-style-type: none"> 事務の一元化により、統一的及び効率的な対応が可能となり、各課の事務量が軽減されました。 年度ごとに創設・改正される国の支援措置を把握し、補助金による重点的な支援が受けられました。 実施する事業内容により、調整会議の開催回数が変わります。
成果		

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各課の調整役となり、効率よく重点的に国費が充当されるよう努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	まちづくりに必要な事業が一体的に実施できるため、今後も各課との連携を密にし、効率的に運用を図ります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	533	課	都市計画課	係	都市計画係	起案者	平野素光
						決裁者	市川公清
事務事業名	まちづくり支援事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 4 市街地 2 三河安城駅周辺 1 広域拠点としての市街地形成 1 低未利用地の開発促進		予算科目(会計)	
			予算科目(款・項・目)	
			総合計画以外の計画	
			関連する総合計画の施策	
			性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの
根拠法令	有	安城市まちづくり推進補助金交付要綱、安城市まちづくり建築物建設資金利子補給交付要綱		
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始 平成04年度	経過 23年目	終了 平成27年度	期間 24年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	三河安城駅周辺地区の居住者や駅周辺施設の利用者が	~になる	利便性・機能性に富んだまちで生活、活動できる。
事務事業の内容	三河安城駅周辺地区計画または三河安城駅周辺地区まちづくり指導要綱の区域において、魅力あるまちづくりの推進を図るため、地区計画や指導要綱に沿った開発する土地利用者や建物所有者に対し、各種補助金により支援を行います。			
改善・対策の履歴	平成22年度安城市まちづくり推進補助金（壁面後退促進事業、壁面後退部分環境整備事業）の補助要綱有効期間の5ヵ年延長			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,969	2,759	4,530	2,759	4,130
財源計	3,339	2,129	3,900	2,129	3,500
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,339	2,129	3,900	2,129
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	建築物建設資金利子補給	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	開発面積 (㎡)	活動の総事業費 (千円)	1,204	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	壁面後退促進事業	見込	3,700.00	3,963.00	3,963.00	3,963.00
			実績	3,638.00	3,638.00	3,638.00	
	指標名 (単位)	壁面後退面積 (㎡)	活動の総事業費 (千円)	2,765	2,759	2,759	
			活動にかかるコスト (千円)	0.76	0.76	0.76	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名 (単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	地区計画区域内における開発率 (%)			目標	76.00	78.00	80.00	82.00
				実績	69.70	71.50	71.50	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	82.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画、指導要綱の制度に沿ったまちづくりが進み、活力と潤いのある都市が実現しつつあります。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> 事務処理の改善に努め、効率的な事務を行うことにより、最小限の人員費コストで事業を実施しています。 開発面積は、開発者の意思により左右されます。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域内の未開発地は、駐車場等で土地利用されており、今後、新たな開発申請は少ないと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
申請件数の増減がなく補助金支出コストに大きな変動がない中で、今後も事務改善に努め、更なる事務処理コストの削減を目指します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	三河安城駅周辺地区は、西三河地域の新たな玄関として発展が期待されています。広域的な商業・業務等の諸機能を中心とする秩序ある高度な土地利用を誘導するため、引き続きまちづくりの指導・支援を継続します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	538	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名	あんくるバス運行事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 2 公共交通 2 バス事業 1 あんくるバスの充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	40-20-5	
				総合計画以外の計画	第3次地域福祉計画第7次高齢者保健福祉	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有 平成21年12月定例会(第4回) より利用しやすい環境の整備が必要であるため、地域の皆様のお知恵をお借り					
陳情・市民要望	有 ご意見BOXほか					
実施方法	直営	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成12年度	経過	15年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	移動の困難な市民が		~になる	あんくるバスで移動できるようになる	
事務事業の内容	①移動制約者の社会参加の促進②中心市街地の活性化・商店街の振興③公共施設の利便性の向上④公共交通空白地域の解消⑤環境負荷の低減の5つを目的とし、バス事業者が運営する路線バスの廃線などにより公共交通手段が無くなってしまった地域を中心に、市内の高齢者などの移動用具を持たず移動の困難な市民が、駅や病院、福祉センターなどへ移動できるようにあんくるバスを運行します。					
改善・対策の履歴	【平成22年度】12月に東部線について一部運行経路及びダイヤの改正を実施しました。 【平成23年度】全線において年末年始の試験運行を実施しました。 【平成24年度】11月から公共交通空白地域の内3地区で、実験的にあんくるバスに接続する予約式乗り合いタクシーの運行を開始しました。 【平成25年度】安祥福祉センターの新規オープンに合わせ、市街地線の乗り入れを開始しました。 【平成26年度】10月に全路線について路線及びダイヤの改正を行い、循環線を2路線としました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	121,646	122,182	225,561	245,415	324,234	
財源計	114,716	114,937	218,001	237,855	317,304	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	375	576	576	499	500
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	114,341	114,361	217,425	237,356	316,804
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	6,930 (1.10)	7,245 (1.15)	7,560 (1.20)	7,560 (1.20)	6,930 (1.10)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	バス運行費用の負担	見込	10.00	10.00	11.00	11.00
			実績	10.00	10.00	11.00	
	指標名 (単位)	路線数(路線)	活動の総事業費(千円)	112,435	109,075	211,931	
			活動にかかるコスト(千円)	11,243.50	10,907.50	19,266.45	
活動2	活動名 (活動内容)	バス停維持管理	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	維持修繕(式)	活動の総事業費(千円)	1,920	1,699	2,401	
			活動にかかるコスト(千円)	1,920.00	1,699.00	2,401.00	
活動3	活動名 (活動内容)	バスロケーションシステム管理	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	システム管理(式)	活動の総事業費(千円)	820	504	519	
			活動にかかるコスト(千円)	820.00	504.00	519.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	あんくるバスの利用者数(人)			目標	394,000.00	416,000.00	423,000.00	453,500.00
				実績	415,729.00	422,149.00	453,452.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	利用者1人あたりの市負担額(円)			目標	300.00	286.00	273.00	295.00
				実績	286.00	273.00	295.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金制度を活用し、負担金を抑制することができました。 ・公共交通であるあんくるバスの運行により、移動困難者の社会参加を図ることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	バス運行費用の負担については、負担額の算出のもととなるバス事業者の運行経費において、国の通達により人件費等が高騰したため増加しています。
成果	運行ルート及びダイヤ改正を実施したことに加え、バスロケーションシステムの導入やバス案内人の配置などの利用促進を行ったことが、利用人数の増加につながったと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
ルート及びダイヤの見直しによる利用状況の分析を行うとともに、バスロケーションシステムの拡充など、利用者の利便性を向上させる取組が必要です。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	環境負荷を軽減するためには、鉄道、バスなどの公共交通の利用促進を図る必要があります。あんくるバスについては、総合交通計画の中で位置付けが明確となっており、国の補助制度も活用しながら民間路線バスと相互に補完して運行をしています。今後も、高齢者や障害者、一般市民の誰もが安心して利用できる移動手段となるよう検討を行っていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	541	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名	路線バス補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 2 公共交通 2 バス事業 2 路線バスの運行確保			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	40-20-5	
				総合計画以外の計画	第7次高齢者保健福祉計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	平成21年12月(第4回) 名鉄バス安城線は市内の基幹バスとして重要なものであり、存続を前提として考え				
陳情・市民要望	有	窓口ほか				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成16年度	経過	11年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	路線バスを利用する市民が		~になる	現在と同じように移動できる	
事務事業の内容	バス事業者が経営の合理化を進める中で、赤字路線であるために存続が困難とされたバス路線について、事業者に対して補助をして路線を継続することで市民の移動手段を確保します。					
改善・対策の履歴	国庫補助制度を継続して活用することで、路線を維持し市民の交通手段の確保を行ないました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	22,165	24,380	22,849	24,797	20,686
財源計	20,590	22,805	21,400	23,348	19,300
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	20,590	22,805	21,400	23,348
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,386 (0.22)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	バス生活交通路線維持補助金交付	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	補助対象路線数(路線)	活動の総事業費 (千円)	22,165	24,380	24,797	
			活動にかかるコスト (千円)	11,082.50	12,190.00	12,398.50	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	運行の確保(路線)			目標	2.00	2.00	2.00	2.00
				実績	2.00	2.00	2.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	補助路線利用者数(人)			目標	381,470.00	329,885.00	327,487.00	345,524.00
				実績	329,885.00	327,487.00	345,524.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	・同じサービス(運行時間、便数など)であんくるバスを運行するより、低コストとなっています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	国の通達による人件費等の上昇により、平成26年度の運行経費が増加しているため、補助対象1路線当たりの単位コストは増加しました。
成果	補助を継続することにより、路線を維持して市民の交通手段の確保ができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
市民の足として重要な役割を果たしており、沿線地域の方々の移動手段確保のためにも、当面は補助による路線維持が必要であると考えられます。ただし、補助金が増加傾向にあることから、補助金の軽減を図るべき新たな方策を検討します。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	補助対象のバス路線については、市内の基幹バスとして重要なものであり、代替路線としてあんくるバスを運行させたことを想定した場合の経費と比較して低コストであるため、事業を継続します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	542	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名		レンタサイクル事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 3 自転車 1 エコサイクルシティの形成 2 自転車の利用促進			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		40-20-5
				総合計画以外の計画		エコサイクルシティ計画
				関連する総合計画の施策		
				性質区分		市の内部事務事業
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有 婦人乗り自転車を導入して欲しい。					
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体			
実施期間	開始	平成16年度	経過	11年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	レンタサイクルを利用するようになる	
事務事業の内容	日常的な交通手段として広く自転車の利用促進を図るため、主要駅や公共施設、公園などにサイクルポートを設置し、放置自転車を再利用したりサイクル自転車などの貸し出しを行っています。					
改善・対策の履歴	平成24年10月に利用が極端に少なかったクリエーションプラザのサイクルポートを廃止しました。また、以前から要望のあった地区として、平成26年1月に北部公民館にサイクルポートを新設し、利用状況に応じたサイクルポートの配置を行ない、市内11箇所(61台のレンタサイクル)で運用しています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,940	6,431	7,309	6,439	6,679
財源計	2,530	2,651	2,899	2,659	2,899
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,530	2,651	2,899	2,659
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,410 (0.70)	3,780 (0.60)	4,410 (0.70)	3,780 (0.60)	3,780 (0.60)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	レンタサイクルの提供	見込	60.00	60.00	61.00	61.00
			実績	60.00	61.00	61.00	
	指標名 (単位)	自転車台数(台)	活動の総事業費 (千円)	3,135	2,856	3,173	
			活動にかかるコスト (千円)	52.25	46.82	52.02	
活動2	活動名 (活動内容)	自転車維持管理	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	維持修繕(式)	活動の総事業費 (千円)	3,805	3,575	3,896	
			活動にかかるコスト (千円)	3,805.00	3,575.00	3,896.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	レンタサイクル事業のサイクルポート数(か所)			目標	10.00	11.00	11.00	11.00
				実績	11.00	11.00	11.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	利用者数(人)			目標	7,167.00	7,170.00	7,206.00	7,107.00
				実績	7,170.00	7,206.00	7,107.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの普及に伴い、時間外の返却や未返却も増加しました。 ・日常的な移動手段としてレンタサイクルが利用されることにより、環境負荷の軽減を図ることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	自転車の老朽化が進んだことにより、修理台数が増え維持管理コストが増加しました。
成果	利用者数は、ほぼ横ばいとなっており、新たな利用促進策を検討する必要があります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>初期に導入した自転車については、修繕実績を踏まえて更新を行います。また、さらなる利便性の向上を図るため、新たなサイクルポートの増設を検討するとともに、利用状況を踏まえて効率の良いレンタサイクルの運用について検討します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	日常的な交通手段として自転車の利用促進を図るため、今後も新たに未設置の駅や公共施設などへの設置を検討し、利便性を向上させることで利用者数の増加を図ります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	545	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名					交通結節点整備促進事業	事業種別	市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 2 公共交通 1 鉄道利用者の利便性の向上 1 施設のバリアフリー化			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	40-20-5
				総合計画以外の計画	第3次地域福祉計画第7次高齢者福祉計画
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	有	平成21年12月定例会(第4回) 駅のバリアフリー化に引き続き、駅前広場の改良にも入っていきたい。			
陳情・市民要望	有	平成20年11月10日 名鉄本線及び西尾線の鉄道高架化について要望書 東山サミット(東山中学校区 町内会長)			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	平成20年度	経過	7年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が	~になる	駅や周辺施設を利用しやすくなる	
事務事業の内容	駅舎へのエレベーター設置要請など、交通結節点である駅のバリアフリー化を鉄道事業者に促すとともに、駅前広場、自由通路など駅周辺施設の整備について調査・検討を行い、安心安全なまちづくりを推進します。				
改善・対策の履歴	名鉄新安城駅の橋上駅化に向けた協議を鉄道事業者と行いました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	57,583	67,312	4,465	4,432	5,376
財源計	52,228	62,587	244	211	336
財源の内訳	国庫支出金	1,000	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	51,228	62,587	244	211
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	5,355 (0.85)	4,725 (0.75)	4,221 (0.67)	4,221 (0.67)	5,040 (0.80)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	駅のバリアフリー化協議 他	見込	2.00	2.00	1.00	1.00
			実績	2.00	2.00	1.00	
	指標名 (単位)	協議駅数(駅)	活動の総事業費(千円)	2,394	1,953	2,079	
			活動にかかるコスト(千円)	1,197.00	976.50	2,079.00	
活動2	活動名 (活動内容)	駐輪場設置	見込	0.00	0.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	設置箇所数(箇所)	活動の総事業費(千円)	0	474	1,912	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	474.00	1,912.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	駅のバリアフリー化(駅)		目標	0.00	1.00	0.00	0.00
			実績	0.00	1.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成		
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	名鉄新安城駅橋上化に向けた鉄道事業者との協議を行ないました。また、国、県と補助メニューの検討を行ないました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	新安城駅周辺の整備として仮設駐輪場の設置を行ったため、事業費が増加しました。
成果	新安城駅橋上化のほか南安城駅のバリアフリー化についても協議を行いました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成27年度は名鉄新安城駅の橋上駅化及び南安城駅のバリアフリー化について、鉄道業者と引き続き協議を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	鉄道駅は多くの市民が利用する施設であるため、順次整備が進むよう鉄道事業者に要請するとともに、周辺施設の整備についても検討を行っていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	902	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名		エコサイクルシティ協働推進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり		予算科目(会計)		一般会計	
	3 道路・交通		予算科目(款・項・目)		40-20-5	
	3 自転車		総合計画以外の計画		エコサイクルシティ計画	
	9 上記施策以外の施策		関連する総合計画の施策			
	9 上記施策以外の施策		性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	平成23年9月定例会(第3回) エコサイクルシティ計画の基本方針に沿って、自転車による街づくりを市民と				
陳情・市民要望	有	ご意見BOXほか				
実施方法	一部委託	委託先	その他(エコサイクルシティ実行委員会)			
実施期間	開始	平成20年度	経過	7年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	移動手段として主に自動車を利用している人が		~になる	環境にやさしく健康増進に繋がる自転車を利用するようになる	
事務事業の内容	エコサイクルシティ計画「計画推進—市民・事業者・行政の協働による自転車まちづくり」を推進するため、計画の適正な進捗管理を進めるとともに、市民の自主性に基づき事業を実施してもらうことにより市民団体の育成を促し、協働による自転車まちづくりを進めます。					
改善・対策の履歴	自転車の利用が増えると事故も増加するため、イベントにおいては、自転車の交通ルールや保険の加入に関するPRもあわせて行うようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	7,063	11,078	11,695	14,863	19,610
財源計	3,283	6,353	6,970	9,508	14,570
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,283	6,353	6,970	9,508
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	3,780 (0.60)	4,725 (0.75)	4,725 (0.75)	5,355 (0.85)	5,040 (0.80)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	イベントの開催	見込	3.00	3.00	2.00	2.00
			実績	3.00	3.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,921	6,904	6,878	
			活動にかかるコスト(千円)	640.33	2,301.33	1,719.50	
活動2	活動名 (活動内容)	エコりんりんによる打合せの開催	見込	3.00	3.00	3.00	4.00
			実績	4.00	9.00	5.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	945	630	630	
			活動にかかるコスト(千円)	236.25	70.00	126.00	
活動3	活動名 (活動内容)	自転車購入費補助及び自転車利用安全利用講習会参加	見込	90.00	100.00	100.00	90.00
			実績	114.00	87.00	66.00	
	指標名 (単位)	自転車購入補助台数(安全講習会受講者数)(台)	活動の総事業費(千円)	2,862	2,532	2,559	
			活動にかかるコスト(千円)	25.11	29.10	38.77	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	イベント参加人数(人)			目標	1,650.00	1,650.00	1,500.00	500.00
				実績	2,568.00	2,070.00	938.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	自転車の整備と保険加入を同時に行うTSマークの取得に対する自転車安全整備費補助の件数は増加傾向にあり、市民の自転車に対する安全意識が向上してきていると考えられます。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	弥厚生誕250年のプレイベントとしてサイクリングとスタンプラリーを実施し、また、子供向けの自転車教室を新たに開催したことにより、例年よりイベント回数が多く、コストは減少しました。
成果	従来の啓発活動主体ではなく、サイクリングや子ども向けの自転車教室など人数限定での参加型イベントを行ったことが、参加人数減少の要因であると考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各イベントにブースを出展する形で自転車利用啓発を行なっていることを活かし、より多くの市民に自転車利用を促すためには、環境面や健康増進に加え、近年注目される地震などの災害時にも燃料なしで移動可能である自転車の有効性についてアピールしていくことが重要であります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	環境負荷の軽減を図るためには、移動手段を自転車や公共交通機関へ転換を図る必要があります。より多くの市民が自転車を利用し、健康的な日常生活を送れるよう、市民との協働で啓発活動や自転車走行空間の整備を進めていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	986	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名		総合交通計画推進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通		予算科目(会計)		一般会計	
			予算科目(款・項・目)		40-20-5	
			総合計画以外の計画		都市計画マスタープラン・安城市地域公	
			関連する総合計画の施策			
			性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先				
実施期間	開始	平成22年度	経過	5年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	自家用車利用を止め、公共交通を利用するようになる。	
事務事業の内容	「市民とともに育む環境首都」を目指して策定した総合交通計画の交通戦略プランに基づき、自家用車利用を抑えた公共交通型の都市づくりを推進します。					
改善・対策の履歴						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,733	2,040	1,956	1,776	2,049
財源計	158	465	570	390	474
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	158	465	570	390
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,386 (0.22)	1,386 (0.22)	1,575 (0.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	総合交通会議の開催	見込	3.00	3.00	4.00	3.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,733	2,040	1,776	
			活動にかかるコスト (千円)	433.25	510.00	444.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公共交通機関利用率(%)			目標	34.00	35.00	36.00	37.00
				実績	34.60	35.70	36.80	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	あんくるバス及びデマンドタクシーの運行について審議いただき、利用者の利便性向上を図る上で貴重な意見を得ることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動事業費は総合交通会議に出席する委員等の謝礼のみです。
成果	総合交通会議において審議し、路線バスの維持、あんくるバスの見直し及び利用促進の取組みを行ったことにより着実な推進が図られました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
あんくるバス、デマンドタクシーなどの計画を諮問する総合交通会議では活発な意見をいただくよう工夫をします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	環境首都を目指し策定した総合交通計画の交通戦略プランに基づき、自転車や公共交通利用型の都市づくりを推進します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	987	課	都市計画課	係	総合交通係	起案者	神谷弘泰
						決裁者	市川公清
事務事業名	あんくるバス利用促進事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 3 道路・交通 2 公共交通 2 バス事業 1 あんくるバスの充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	40-20-5	
				総合計画以外の計画	第3次地域福祉計画第7次高齢者福祉計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成22年度	経過	5年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	あんくるバスを利用するようになる。	
事務事業の内容	広報での土日無料乗車券の配布などにより、未利用者への乗車機会を提供することで、利用者増を図ります。					
改善・対策の履歴	10月に開催されたサンクスフェスティバルの開催にあわせ、無料乗車キャンペーンを実施しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,568	1,552	1,849	1,450	1,649
財源計	119	103	400	1	200
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	119	103	400	1
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	乗車啓発キャンペーン の実施	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	乗車無料券の配布(回)	活動の総事業費 (千円)	1,568	1,552	1,450	
			活動にかかるコスト (千円)	1,568.00	1,552.00	1,450.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	無料キャンペーン利用者数(人)			目標	1,742.00	1,192.00	1,008.00	1,857.00
				実績	1,192.00	1,008.00	1,857.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	広報での無料券の配布をとりやめ、キーボー市での配布のみとしたため、無料券利用者は減少しました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	無料キャンペーンの回数を1回としてからは単位コストはほぼ横ばいとなっています。
成果	運行ルート及びダイヤ改正により市街地部分の運行本数が増加しており、また、中心市街地でのイベントにあわせて実施したことにより利用者数が増加したと考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
乗車啓発活動は利用者の増加を図る上で効果的な活動であるため、今後も実施方法などをよく検討して行うことが重要です。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	より多くの市民があんくるバスを利用するきっかけとするため、中心市街地活性化も視野に入れながら、キャンペーンの実施日や実施方法について、引き続き検討を行います。